

平成31年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

- | | | | |
|----------|-------|------------|------|
| ・ 社会教育係 | 1～3 | ・ 人権・同和教育係 | 4 |
| ・ 中央公民館係 | 5～7 | ・ 図書館係 | 8～14 |
| ・ 美術館係 | 15～17 | ・ 文化財係 | 18 |

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【社会教育係】

平成 31 年 度 事 業 計 画												
番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	3 豊かな人間性及び志をもつてたくましく生きる力を培う教育の推進	(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	② 学校と地域が連携して子どもを育む事業	学社連携・融合事業	学校を核として、地域住民と保護者等が一緒になって、子どもたちの学びや育ちを支援する体制を整えることにより、子どもの健全育成と地域社会の教育力の向上を図ります。	・学校行事等と地域団体事業が同時期に重なることがあったため、年間を通じた相互の事業スケジュールの確認及び調整を行う必要があります。 ・人材バンクの活用を推進し、地域と学校が繋がる機会を提供する必要があります。	年間	・より多くの地域住民や団体等のネットワークを強化し、学校と地域住民が情報交換・情報共有できるような場を設定するなど、地域住民が学校と連携できるよう支援します。 ・ボランティア人材バンクの活用や住民会議、子ども会活動、学校行事等を通して、学校と地域が連携・協力できるように支援します。	・教職員の研修等を含む学校行事と、地域団体事業のスケジュールの確認及び調整を行います。 ・人材バンクの活用や子ども会活動について、学校への情報提供を行うなど、学校と地域が連携して事業ができるよう支援します。	・学校行事への参加・協力 随時 ・ボランティア人材バンクの活用 随時 ・住民会議、子ども会活動への連携 随時	・消耗品費 10,000円	市内小中学校 ボランティア人材バンク 地域住民 地域の団体 社会教育関係団体
2	3 豊かな人間性及び志をもつてたくましく生きる力を培う教育の推進	(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	③ 家庭教育支援事業	家庭教育支援事業	子育て家庭の孤立を防ぐとともに、子育ての不安や負担感・行き詰まり感の解消を図るなど、地域ぐるみで子育て家庭を支援する体制づくりを目指します。	・少子化や保護者の早期復職などにより、講座参加者が減少傾向にあることから、開催時期や募集対象が同じとなる他課係(子ども育成課、スポーツ推進課、美術館係、図書館係)との情報交換や連携を図る必要があります。 ・地域ボランティアの発掘、育成が必要です。 ・メディアの話について、今後も継続して啓発を行っていく必要があります。	年間	■子どもを取り巻く環境整備 保護者や子どもに対し、子どもを取り巻く現状を伝えるため、様々な情報提供を行うことで、基本的な生活習慣の確立を目指します。 ■家庭教育支援 子どもを持つ保護者が繋がるための講座等を実施します。 ■地域の教育力向上 子どもと保護者、保護者同士、地域の人たちが触れ合える体験型の事業を実施します。	・参加者のニーズを把握し、講座受講者が参加しやすいような事業を実施することで、保護者同士の繋がりを作ります。 ・関係課、係との情報交換を行うことで、事業を協力して実施します。 ・実施する事業で参加者に声掛けなどを行いながら、地域ボランティアの発掘、育成を行い、家庭教育支援事業を地域活動として定着できるよう、継続した取組を行います。 ・幼稚園、保育所・園、小・中学校にメディアの話についての日程の希望調査を行い、年間を通して計画的に実施します。	情報モラル教育の実施 150回/年 子育て支援講座 30回/年 屋外体験事業 12回/年	・家庭教育支援事業消耗品 115,000円 ・家庭教育支援事業報償費 6,000円 ・託児委託料 198,000円	図書館係 スポーツ推進課 教育センター 健康課 こども育成課 子育て支援センター 社会福祉協議会 市内小中学校、高校、幼稚園、保育所・園
3	3 豊かな人間性及び志をもつてたくましく生きる力を培う教育の推進	(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	④ 青少年健全育成事業	青少年健全育成事業	関係機関・団体はもとより、学校、家庭、地域の連携を強化し、社会全体での取組みとして、青少年の健全育成を図ります。	・相談業務について、学校教育課や教育センターと連携を行い、より充実した相談体制づくりをする必要があります。 ・嘉麻警察署・生活安全係・教育センターとの連携を図りながら、少年補導委員への継続的な支援を行い児童生徒の非行防止と安全安心な環境づくりをする必要があります。	年間	・学校教育課や教育センターと連携・協力し、児童・生徒並びに保護者等からの相談に適切に対応します。 ・教育センター相談員と少年補導委員による定期的な市内巡回と街頭指導により、児童・生徒の安心・安全を守るとともに、いじめや非行防止に努めます。 ・少年補導委員が効率的に活動できるよう支援を行なうとともに、資質向上のため研修会・講習会等への参加に努めます。 ・有害図書等の市内各所立ち入り調査を実施します。	・嘉麻市教育センターと定期的に情報共有などを行い、児童生徒及び保護者等からの相談に対応できるよう連携を図ります。 ・嘉麻警察署等の関係機関と補導委員連絡協議会と情報共有・情報交換を行い、連携して児童生徒の非行防止に努めます。 ・青少年問題協議会を開催し、関係機関と情報共有を図ります。	・各学校への訪問 ・市内巡回 ・登下校時の見守り ・研修会 1回/年 ・立入調査 1回/年 ・青少年問題協議会 1回/年	・少年補導委員謝礼 984,000円 ・消耗品費 30,000円 ・青パト燃料費 130,000円 ・スポーツ安全保険代 33,000円 ・少年補導委員補助金 207,000円	少年補導委員 市内小中学校 嘉麻警察署 防犯協会 交通安全協会 PTA 生活安全係 教育センター 学校教育課

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【社会教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年 度 事 業 計 画								
					Plan ・ Check		Do ・ Action						
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携	
4	3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	(6)男女共同参画教育の推進	② 地域社会における男女共同参画推進事業	地域社会における男女共同参画推進事業	社会教育における事業や講座を通して、男女共同参画の趣旨や必要性についての意識啓発を行うとともに、講座を実施する中で性別役割分担意識の解消に努めます。	事業を実施する際に啓発活動を行ってききましたが、全ての事業での実施に至らなかったためより多くの事業で啓発を行う必要があります。	年間	・事業を行う中で、家庭や地域の中で、固定的な性別役割分担意識の解消に繋がるような取り組みを行います。 ・男女共同参画の視点に立った事業の実施を積極的に進め、様々な機会を通して情報提供を行うなど、男女共同参画についての意識啓発を行います。	・実施する事業の中で、男女共同参画推進課と連携し、男女共同参画の説明や情報提供など啓発を行います。 ・男性保護者の参加率が高い事業にあわせ、親子体験活動・講座を実施し、男女の性別役割分担意識の解消につながるよう努めます。	・男女共同参画についての意識啓発 随時	・消耗品費 10,000円	男女共同参画推進課	
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	① 社会教育関係団体等育成事業	社会教育関係団体等育成事業	社会教育関係団体の自主的・主体的活動が活発に行われることにより、地域の社会教育活動の活性化を図ります。	継続的な支援を行い、年間を通して活動が展開されるよう協力していく必要があります。	年間	・各団体が主体性や自主性を持ち自立して活動できるよう適切な支援を行います。 ・役員会や理事会など、必要に応じ指導・助言を行うとともに、適切な支援を行います。	・年間計画を作成する際の情報提供や助言を行います。 ・会議において必要な情報提供や助言を行います。	・主催事業の支援 随時	・補助金 青少年育成住民会議 839,700円 子ども会指導者連合会 872,100円 文化協会 1,146,600円 文化祭 709,000円 PTA 1,040,400円	市内小中学校 PTA 各種団体・サークル	
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	① 社会教育施設整備事業	社会教育施設整備事業	地域の生涯学習の拠点である社会教育施設の適切な維持管理運営を行い、市民の教育・文化の向上と生きがいづくりに繋がります。	・老朽化に伴う修繕や取替え、定期点検等、必要最小限の支出で、効果の上がるような維持管理を行っていく必要があります。 ・なつき文化ホールの大規模修繕(吊り天井改修工事)を2020年度に予定しており、工事期間中は利用ができませんため、利用者に対し事前の周知を行う必要があります。	年間	社会教育施設の定期的な点検を行うことにより、修繕箇所の早期発見に努め、老朽化に伴う計画的な改修を実施します。 ・なつき文化ホール ・上山田住民ホール ・山田市民センター ・白馬ホール ・稲葉住民センター	・施設及び設備の管理・改修・整備・保守など、適切な維持管理を行います。 ・なつき文化ホールの大規模修繕(吊り天井改修工事)の工事期間中は利用ができませんため、利用者に対し事前の周知を行います。	—	社会教育施設費 [なつき文化ホール] 22,288,000円 [上山田住民ホール] 8,932,000円 [山田市民センター] 13,472,000円 [白馬ホール] 5,860,000円 [稲葉住民センター] 91,000円	—	

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【社会教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年度 事業 計画								
					Plan ・ Check		Do ・ Action						
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携	
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	② 生涯学習推進事業	ボランティア人材バンク事業	・市民が学習した成果を地域で活用し、更なる学びや生きがいに繋がる「知の循環型社会」を構築することにより、お互いに学び合い、生きがいのある豊かな地域社会をつくることを目指します。	高齢化に伴い、登録者が減少傾向にあるため、新たな人材の発掘・確保の必要があります。	年間	・社会教育関係職員及び地域活動指導員の資質の向上に努め、地域活動の活性化や市民への生涯学習・社会教育活動の推進を図ります。 ・仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人が、学校や地域などの様々な場面で、その培った経験、技術等を活かし還元することにより、市民がお互いに学び合い、生きがいを持って過ごすことができるよう、市民の生涯学習活動を支援します。	・人材バンク登録者の研修会や交流事業を継続して開催することにより、意見交換や交流の場を増やし、新たな取組に繋がります。 ・地域活動指導員が連携・協力して事業を実施することにより、家庭・地域の教育力の向上と子どもたちの生きる力や、地域リーダーの育成を図ります。	・ボランティア人材バンクの利用 派遣回数 160回	・消耗品費 236,000円	社会教育関係団体 学社連携融合事業	
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	③ 青少年体験活動推進事業	通学合宿推進事業	体験活動を通して、子どもたちの基本的な生活習慣の確立と、社会性、自主性を身につけた地域リーダーとなる人材育成を推進します。	・参加者数に増減があるため、募集のときの工夫やPRが必要です。 ・上山田小、熊ヶ畑小での実施に向けて検討する必要があります。	稲築：9月実施 碓井：10月実施 山田：10月実施 嘉穂：10月実施	・実行委員会の開催 ・事前研修の開催(1日～1泊2日) ・通学合宿の実施(4泊5日～5泊6日) ・事後研修の開催(1日) ・サポーター育成	・実行委員会や学校等と協力し、より多くの子どもが参加しやすいように、働きかけを行います。 ・地域のボランティアや関係団体の協力が必要となるため、協力者を発掘するとともに、実施できるような事業計画を検討していきます。	稲築・碓井・山田・嘉穂地区 1回/年	・消耗品費 200,000円 ・医薬材料費 10,000円 ・布団借上料 190,000円	市内小学校 実行委員 地域ボランティア	
	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	③ 青少年体験活動推進事業	わたしのエッセイ事業	子どもの活字離れを抑制し、表現力の向上を図るとともに、エッセイを通して、子どもと保護者が話し合い、ふれあえる機会を提供することで、子どもの健全育成を図ります。	表彰式について、当日朝のリハーサルから本番までスムーズに進行することができ、予定より早く閉式することができました。今後は児童及び保護者の負担軽減のため、集合時間を遅らせるなどの見直しを検討する必要があります。	夏休み～1月下旬表彰式	・選考委員会 テーマ決定 作品選考など ・作品募集 テーマに基づき、市内の小中学生を対象に作品を募集 ・表彰式 優秀作品の発表と表彰 ・エッセイ集の作成 入選作品の文書を作成し配布	表彰式参加の児童及び保護者については、早朝からのリハーサルに参加いただいているため、当日の集合時間等のスケジュールの見直しを行うとともに、会場準備やリハーサル・本番をスムーズに行うことで、児童及び保護者の負担軽減を図ります。	・選考委員会 4回/年 ・表彰式 1回/年	・報償費 334,000円 ・消耗品 20,000円 ・印刷製本費 301,000円	市内小学校 地区公民館	

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【人権・同和教育係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	地域等での人権・同和問題研修会及び子ども向けの人権教室	①行政区、団体・サークル、企業等の人権・同和問題に関する学習を推進し、地域社会や職域などにおいて、人権尊重理念の涵養を図ります。 ②市民を対象に各地区公民館において人権・同和問題についての研修会を行い、日々の暮らしや住民の自然な会話の中から人権意識が広がることを目指します。 ③子どもたちを対象に、人権について学ぶ機会を確保し、子どもたちの人権感覚の涵養を図ります。	行政区長会での人権・同和問題研修会について、全地区での実施を働きかける必要があります。 子どもたち向けの研修方法と教材の研究が必要です。	4月1日～3月31日	研修会の実施にあたっては、視聴覚教材などを活用し、人権・同和問題について考えるきっかけを提起することにより、自らの偏見や差別意識を見直すとともに、正しい知識や判断力を身に付けることの大切さを伝えます。 ①行政区等で実施する人権・同和問題研修会については、参加者の要望等に応じた研修内容で実施します。 ②各地区公民館で行う人権・同和問題研修会については、各地区公民館長と連携を図り、地域のニーズに応じた研修会とします。 ③子どもたちを対象とした研修会については、生涯学習課が実施する事業の中で実施するとともに、小・中学生向けの人権教室を開催します。	行政区長会を所管する総務課及び総合窓口課総務係との協議・連携を行い、行政区長への理解を求めます。 子ども向けの研修会については、各係の地域活動指導員との事前打合せを行い、適切な時間と内容になるよう工夫を行います。 また、人権教室については、実施方法等について小・中学校と協議し、連携して行います。	地域等での研修会開催数 23回 子ども向けの人権教室開催数 12回	[報償費] 講師謝礼 925千円 [旅費] 普通旅費 23千円 特別旅費 1,327千円 [需用費] 消耗品費 209千円 食糧費 3千円 [委託料] 委託料 62千円 [備品購入費] 946千円 [負担金補助及び交付金] 負担金 146千円 補助金 1,000千円	・各地区行政区長 ・総務課 ・総合窓口課総務係 ・生涯学習課各係 ・小・中学校 ・市人権・同和教育研究協議会
2	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	事業主人権・同和問題研修会	市内事業所の事業主を対象に、人権・同和問題研修会を開催することにより、事業所内全体に人権尊重理念を浸透させることを目指します。	より多くの事業所に参加していただき、事業所内での人権感覚の醸成を図る必要があります。	未定	人権・同和对策課と連携し、飯塚公共職業安定所との共催で、市内事業所の事業主を対象に外部講師等による人権・同和問題研修会を開催します。	開催通知に加え、各庁舎へのポスター掲示及びホームページや市の広報に掲載を行うことにより、より多くの事業所に参加していただけるよう周知を行います。	1回/年	[負担金補助及び交付金] 負担金 146千円 補助金 1,000千円	・人権・同和对策課 ・飯塚公共職業安定所
3	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	② 人権・同和教育推進少年団体育成事業	解放子ども会	解放子ども会活動を通じて、人権感覚の涵養と差別を許さず、差別をなくしていくと子どもを育成を図ります。	解放子ども会事業の実施方法について、見直す必要があります。	4月1日～3月31日	部落差別をはじめあらゆる差別をなくすることを主たる目的として活動する団体が企画運営する解放子ども会事業について、嘉麻市解放子ども会事業補助金交付規程に基づき補助金を交付します。 補助金交付の初年度であることから、目的及び内容・計画が適正であり、事業が最小の経費で最大の効果をあげるような手段がとられているか審査します。	事業の実施方法を見直し、解放子ども会と人権教室の2つの方法によって、子どもたちの人権感覚の涵養を図ります。	—	[負担金補助及び交付金] 補助金 3,000千円	・部落解放同盟嘉麻市協議会
4	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体体育成事業	解放学級	社会の変化に伴い多様化する厳しい差別の現実打ち克つ力を身につけるため、一人ひとりが継続して自ら気づき、考え、行動する力を培う学習活動を支援します。	開講式や閉講式の開催について、学級代表者との連携が必要です。	4月1日～3月31日	・各地区において、自主的に計画した人権学習を月1回実施します。 ・合同開講式及び閉講式を実施することで、共に学びあい、お互いの理解と心の繋がりを深めます。	代表者会の開催により、学級代表者との情報共有を図ります。	・1回/月 ・各1回/年	[報償費] 講師謝礼 1,360千円 [需用費] 消耗品費 96千円 燃料費 26千円 [使用料及び賃借料] 646千円	・地域住民 ・小・中学校
5	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体体育成事業	識字学級	日常生活において文字の読み書きに不自由している人の、読み書きを学ぶ場と学ぶ機会の確保を図ります。	文字を獲得することで、生きることへの自信や喜びに繋がることが継続して支援することが課題です。	4月1日～3月31日	週1回、識字学級を開催し、学校と協力して文字の読み書き学習を支援します。また、自主学習においては、学習内容が異なるため、分からないところは質問できる雰囲気をつくりサポートを実施していきます。	人権・同和問題への関心を高める学習内容の工夫、さらに、有意義な研修を維持するための資料や教材などの情報の振り起こしを継続して行います。	1回/週	[報償費] 講師謝礼 1,360千円 [需用費] 消耗品費 96千円 燃料費 26千円 [使用料及び賃借料] 646千円	・小・中学校

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)【中央公民館係】【稲築・碓井・嘉穂・山田地区公民館】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	④ 公立公民館・自治公民館連携強化推進事業	分館・自治公民館活動支援事業	それぞれの公民館で行われている公民館活動の支援を行い、地域活性化と地域文化の向上を目指す。	公民館基本計画に基づき分館方式への移行を進めていく必要があるため、新たに分館を設置する区域においては、地区公民館が主導的立場で分館事業の実施計画を立案する必要がある。	4月～3月	地区公民館による分館活動の企画・立案・運営支援 地域・学校・行政の連携強化 各種補助金の交付 ・分館運営費補助 ・自治公民館活動事業費補助金 ・公民館類似施設等補助金 各種補助金についての地元協議	分館長会議・自治公民館長会議を通じて、分館方式への移行の説明を行い、新たに分館を設置する区域においては、地区公民館が主導的立場で分館事業の実施計画を立案し、分館事業への協力及び参加を要請する。	随時	事業総額 16,706千円 (うち補助金) 公民館類似施設等補助金 2,972千円 分館運営費補助金 3,803千円 自治公民館等活動費補助金 3,683千円	分館 自治公民館 市内小・中学校
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	稲築地区公民館施設整備事業	生涯学習活動の拠点となる稲築地区公民館施設の整備を行う。	-	4月～3月	稲築中学校区小中一体型校との併設に向けた協議 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会への情報提供及び意見聴取	-	随時	-	自治公民館 公民館利用団体 社会教育関係団体 企画財政課 学校教育課 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	分館・自治公民館施設見直し事業	公民館基本計画に基づき、分館施設の新設や建替、移設等を行う。自治公民館施設の見直しを行う。	分館を新設する稲築・碓井地区については、分館の対象区域の設定と自治公民館施設の見直しを同時に進めていく必要があるため、今後も地元住民への十分な説明、協議が必要である。また、山田・嘉穂地区については、分館施設の設置や移設等について、今後も地元住民への十分な説明、協議が必要である。	4月～3月	分館施設の設置や見直しを行い、施設の新設や建替、移設等の検討、地元協議を行う。 自治公民館施設の見直しを行い、地元協議を行う。	分館施設の設置・移設及び自治公民館施設の地元移管を進めるためには、地元協議を進めることに並行して、関係各課とも連携し、事業を進めていく。	随時	-	分館 自治公民館 企画財政課 総合窓口課 人権・同和对策課 地域活性化推進課
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	公民館施設管理運営事業	生涯学習の拠点である公民館施設の適切な維持管理を行う。	老朽化した施設が多くあるため、経年劣化による部品の交換や施設修繕等、費用が増加している。	4月～3月	公立公民館施設 ・施設の維持管理 ・施設の改修・補修 ・施設備品の管理・補修	経年劣化による部品交換や施設修繕については、計画的に行い、予算の平準化を図る。公立公民館施設の見直しを行い、計画的に施設整備を行う。	随時	事業総額 71,006千円	分館 企画財政課

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)【中央公民館係】【稲築・碓井・嘉穂・山田地区公民館】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	成人式	大人になったことを自覚し、自らの努力で、人生を切り拓こうとする新成人を祝い励まし、若者の社会や地域のリーダーとしての育成を行う。	成人年齢を現行の20歳から18歳に引き下げる改正民法が2022年4月1日に施行されることに伴い、成人式の実施方法を検討していく必要がある。	2020年 1月12日	実行委員会形式による企画・運営 第1部 式典 第2部 アトラクション	近隣市町村の動向を踏まえ、成人年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられた際の成人式の実施方法を検討していく。	実行委員会 5回程度	補助金 1,200千円	成人式実行委員会
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	中央公民館事業	社会教育法第20条の目的に沿った講座を実施し、公民館活動の活性化を図る。	中央公民館で実施している全市の事業を、各地区公民館を中心に実施していくための柔軟な組織作りが必要である。 新たな人材の確保のためにも、地域住民と協働で実施する事業や、地域の核となる人材育成を行う事業について、積極的に取り組む必要がある。	4月～ 3月	公民館基本計画に基づき、住民の生涯学習や生活における文化の向上・健康増進などに資するための講座や講習会等を開催する。 公民館全体の取りまとめや指導助言を行い、併せて全市的な事業を開催する。 地区公民館が各分館の活動支援及び新たに分館を設置する区域への活動支援を行うための指導助言を行う。 公民館活動を活性化するため、地域情報の収集や先進地事例等の情報発信を行う。 住民への学習機会の提供と各種事業を通じて、地域の公民館活動の核となる人材の育成及び支援を行う。	公民館基本計画に基づき、地域の実情に合わせた主体的な活動を促進する地区公民館の体制づくりを行う。 全市的な事業の実施方法を見直し、公民館全体の取りまとめや指導助言を行うための中央公民館組織機能の見直しを行う。 事業の実施内容・実施方法についての協議・検討を行い、随時事業の見直しを行う。	年間5事業程度 (延べ20回程度)	講師謝礼 91千円 消耗品費 158千円 使用料及び賃借料 68千円	行政関係機関 市内小・中学校 社会教育関係団体 各種サークル

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)【中央公民館係】【稲築・碓井・嘉穂・山田地区公民館】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促進	⑤ 公民館事業	地区公民館事業	<p>社会教育法第20条の目的に沿った講座を実施し、公民館活動の活性化を図る。</p> <p>新たな人材の確保のためにも、地域住民と協働で実施する事業や、地域の核となる人材育成を行う事業について、積極的に取り組む必要がある。</p> <p>中央公民館組織機構の見直しにより、全市的な事業を地区公民館で実施するに際して、住民が参加しやすい環境を整える必要がある。</p>	<p>公民館基本計画の公民館の設置目的及び実施する事業の内容に沿った事業を実施していく必要がある。</p> <p>公民館基本計画に基づき、住民の生涯学習や生活における文化の向上・健康増進などに資するための講座や講習会等を開催する。</p> <p>公民館情報を広く発信するとともに、参加しやすい環境を提供する。</p> <p>住民への学習機会の提供と各種事業を通じて、地域の公民館活動の核となる人材の育成及び支援を行う。</p> <p>各地区公民館長、地域活動指導員を通じて、各分館の活動支援及び新たに分館を設置する区域への活動支援を行う。</p> <p>・次世代を担う青少年の健全育成を目的とした事業</p> <p>・地域住民が集い、懇親、交流、情報交換し、地域住民や関係団体が活性化することを目的とする事業</p> <p>・伝統文化の継承と世代間交流を通して地域コミュニティの活性化を推進する事業</p> <p>・地域団体の活性化と生きがいづくり、仲間づくりを目的とした事業</p> <p>・地域住民と共に企画・運営し、地域が主体となって事業を実施することを目的とした事業</p> <p>・地域の核として活動する人材を育成及び支援する事業</p>	4月～3月	<p>公民館基本計画に基づき、住民の生涯学習や生活における文化の向上・健康増進などに資するための講座や講習会等を開催する。</p> <p>公民館情報を広く発信するとともに、参加しやすい環境を提供する。</p> <p>住民への学習機会の提供と各種事業を通じて、地域の公民館活動の核となる人材の育成及び支援を行う。</p> <p>各地区公民館長、地域活動指導員を通じて、各分館の活動支援及び新たに分館を設置する区域への活動支援を行う。</p> <p>・次世代を担う青少年の健全育成を目的とした事業</p> <p>・地域住民が集い、懇親、交流、情報交換し、地域住民や関係団体が活性化することを目的とする事業</p> <p>・伝統文化の継承と世代間交流を通して地域コミュニティの活性化を推進する事業</p> <p>・地域団体の活性化と生きがいづくり、仲間づくりを目的とした事業</p> <p>・地域住民と共に企画・運営し、地域が主体となって事業を実施することを目的とした事業</p> <p>・地域の核として活動する人材を育成及び支援する事業</p>	<p>地域住民のニーズをくみ取りつつ、住民が相互学習により地域活動の主体者となり得るような地域住民参加型の事業を推進する。</p> <p>事業の実施計画、実施方法等について、ヒアリング・協議・検討を行い、随時事業の見直しを行う。</p> <p>様々なライフステージにおける多様なテーマから地域課題に即した、地域人材を活用できる事業・講座の企画・運営を通じ、地域の核として活動する人材の育成及び支援を行う。</p> <p>中央公民館組織機構の見直しにより、全市的な事業を地区公民館で実施するに際して、その実施方法等の検討を行う。</p>	年間30事業程度(延べ90回程度)	<p>講師謝礼 310千円</p> <p>消耗品費 312千円</p> <p>委託料 112千円</p> <p>使用料及び賃借料 271千円</p>	<p>分館</p> <p>行政関係機関</p> <p>市内小・中学校</p> <p>社会教育関係団体</p> <p>各種サークル</p>

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館施設管理運営事業	施設・資料・図書館システムの適切な管理を行い、利用者が図書館を快適にかつ安心して利用できるようにする。	○図書館システムの更新時期を迎えるため、より効率的で効果的なシステム運用を検討する必要がある。 ○移動図書館車の運行について、地域の停車場所の安全性を確認し、適切な運行ができるように調整を行う必要がある。 ○図書館基本計画に基づき、公共図書館と学校図書館の双方の機能を充実させるための取組についての検討する必要がある。	4月～3月	○施設の維持管理 ○計画的な資料の購入 ○図書館システムの管理運営 ○移動図書館車の運行 ○図書館だよりの発行 ○図書館協議会の開催	○図書館システムについては、32年度を更新予定として、より費用対効果の高いシステム導入に向けて検討を行う。 ○現行のステーションの位置の検討を行う。 ○図書館基本計画について、今後の進め方について検討を行う。	○移動図書館車の市内周回(現行45箇所)/2週間～1月に1回 ○図書館だよりの発行/月1回 ○図書館協議会/年5回	図書館施設管理運営事業 総額 84,491千円	—
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館職員(図書司書)研修	図書司書のスキルアップを行い、図書館利用者へのサービスの向上を目指す。	○市内研修については、公共図書館と学校図書館に関わる市内の図書館関係職員のスキルアップが図られるような研修内容を設定し、適切な開催時期と回数について検討することが必要である。 ○意見交換会については、公共図書館と学校図書館の将来的な統合を見据えた、開催形式や回数を検討する必要がある。 ○県立図書館主催研修会の参加については、受講後に、職員全体で習得した知識や技術を共有できるように努める必要がある。	4月～3月	○公共図書館司書と学校図書館司書との合同研修会の開催 ○公共図書館司書と学校図書館の司書との意見交換会の開催 ○公共図書館職員の県立図書館主催研修会への参加要請	○市内研修については、公共図書館と学校図書館の様々な業務に役立つ研修内容を検討する。また、関係職員が参加しやすい開催時期や回数についても検討する。 ○意見交換会については、学校図書館とのスムーズな協議が進められるよう開催形式等の検討を行う。 ○県立図書館主催研修会の参加については、終了後に館内会議等において報告を行う等、職員全体の情報共有が図られるように努める。	○市内職員研修/年2回開催 ○意見交換会/年2回開催 ○県立図書館等主催研修参加/1人年2回程度参加	うち報償費 16千円 うち旅費 41千円	学校教育課(各学校図書館)

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	おはなし会	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書習慣の涵養を図り、図書館の利用を促進する。	○乳幼児向けおはなし会において、平均参加者数が減少していることから、PRを工夫することにより、より多くの方に関心をもっていただけるように働きかけをする必要がある。 ○市内図書館において、事業開催数に相違があるため、長期的に安定した運営ができるよう開催回数の調整を図る必要がある。	4月～3月	○乳幼児向けおはなし会の開催 ○児童向けおはなし会・工作会の開催 ○映画会の開催	○乳幼児向けおはなし会については、より多くの方に参加していただけるように、関係施設への周知を含めて、PR方法を工夫する。	○乳幼児向けおはなし会／各館で月1回開催 ○児童向けおはなし会／各館で月1回程度開催 ○映画会／各館で年1回～2回程度開催	読書活動推進事業 総額 3,018千円	生涯学習課 社会教育係 こども育成課 子育て支援センター 読書ボランティア
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	赤ちゃんタイム	乳幼児の読書推進活動をより活発に進めるため、市内各図書館で定期的に時間を設定し、図書館の利用促進を図る。	○他部署との連携強化を図りながら、この事業の周知を図ることが必要である。	4月～3月	乳幼児向けおはなし会と併せて、親子で布絵本等に触れるとともに、図書館職員や子育て支援センター職員が絵本や子育ての相談業務等を行う。	○他部署へ案内チラシやポスター設置を依頼する等、事業のPRを積極的に行う。	各館で毎月1回開催		こども育成課 子育て支援センター
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	出張おはなし会(朝の読書活動含む)	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書習慣の涵養を図り、図書館の利用を促進する。	○市内各施設における自主的な読書活動に繋げるため、公共図書館司書と学校図書館司書との協力を含め、市内各施設との連携強化を図ることが必要である。	4月～3月	地域の保育所・小学校・中学校等における、絵本の読み聞かせやブックトークの実施	○各施設との連絡・相談を綿密に行い、反省点を活かしながら、より充実した内容で実施できるようにする。	○朝の読書活動支援 下山田小 稲築西小 碓井小 嘉穂小 ○ブックトーク 市内小中学校からの要望に応じ開催 ○出張おはなし会 各施設の要望に応じ開催	—	こども育成課 学校教育課 保育所(園)等

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタート事業	絵本を通して親子の心の触れ合う時間を提供し、住民の子育て支援と乳幼児期からの読書習慣を涵養することで図書館利用を促進する。	○ブックスタートパック配布の徹底や子育て支援事業への橋渡しをスムーズに行えるように、引き続き各部署との連携・協力を継続していくことが必要である。 ○配付後に、図書館利用や行事参加に繋がるような働きかけを積極的に行う必要がある。 ○現在の実施体制を維持するため、赤ちゃん抱っこボランティアについてのPRを積極的に行い、新規ボランティアを養成することが必要である。	4月～3月	○健康課が実施する4ヶ月健診に併せて、ブックスタート事業の意義の説明 ○絵本2冊を含むブックスタートパックの配布 ○健診会場において、赤ちゃんと保護者に対する絵本の読み聞かせの実施	○各部署との連絡相談を綿密に行うことにより、スムーズな連携・協力を進める。 ○事業案内チラシの配付や声かけを行うことにより、より多くの方に参加していただけるようPRを行う。 ○赤ちゃん抱っこボランティアについては、広報を継続的に行い、新規ボランティアの養成を行う。	月1回開催	うち需用費 397千円	健康課 生涯学習課 社会教育係 こども育成課
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子育て支援講座(絵本ですくすく講座) 【ブックスタートフォローアップ事業】	ブックスタート事業のフォローアップ事業として、親子で触れ合いを持つ機会を提供すると共に、保護者に乳幼児期における読書活動(読み聞かせ)の大切さを理解してもらい、子ども達の読書習慣の涵養を図る。	○参加者の満足度は高いが、参加率が低いため、対象となる市民の興味を惹くような内容を考慮することで、新規参加者増を図る必要がある。また、PR方法についても更なる検討が必要である。	6月～8月	親子で楽しめる講座や家庭内での読書活動のヒントを伝える講座など、本に親しんでいただくことに繋がるような講座を行う。	○市民のニーズに合った事業内容について検討し、関連する事業開催の際に案内を行う等、PR方法を工夫して開催する。	・絵本ですくすく講座/2館で 年1回開催	うち報償費 10千円	生涯学習課 社会教育係

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子ども読書の日事業	4月23日の子ども読書の日を契機として、子どもたちが積極的に読書に親しむ環境を整え、子ども達の読書意欲を喚起できるような取組みを実施し、住民全般に理解と関心を深める。	○引き続き、学校図書館との連携を進めながら、事業の充実を図る必要がある。 ○前年度から継続して開催する事業が中心となり、例年4月開始で開催しているが、30年度は準備期間の不足により、5月からの開催に変更した。次年度については、例年どおり4月から開始できるように準備する必要がある。	4月～5月	○絵本展 ○図書館スタンプラリー ○おはなし会スペシャル ○図書館おすすめの本のリスト配布 ○利用者のおすすめ本展示 ○図書館クイズ ○いもむし選手権	○学校図書館との連携を深め、更に事業内容が充実するように意見交換等を進める。 ○例年どおり、4月開始で実施できるよう準備する。	○おはなし会スペシャル/各館で年1回	—	学校教育課(各学校図書館)
9	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	夏休み子ども向けイベント	夏休み期間等に図書資料に関連した事業を開催することで、今までと違った側面からの本の楽しさに触れてもらうことで、図書館利用を促進する。	○一部定員に達しない事業があったため、引き続き魅力ある事業内容の検討を行う必要がある。 ○近年好評である体験やものづくりに加えて、夏休みの課題(調べ学習)を支援する等、知の拠点施設である図書館の特性を活かした内容を検討する必要がある。	7月～8月	○工作会等の開催 ○夏休み調べ学習応援事業の開催	○子ども達の興味を惹くような内容について、館内で協議を行う。 ○夏休みの課題(調べ学習)を支援する事業について検討を行う。	○夏休み子ども向け講座/3館で年1回開催 ○夏休み調べ学習応援事業/1館で年1回開催	—	—
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	一日図書館員	子どもの読書活動として、図書館の仕事体験を行い、読書への興味を深めるとともに図書館利用を促進する。	○高学年の申込みが少ないため、積極的にPRを行う必要がある。	7月～8月、3月	○夏休み及び春休み一日図書館員の実施	○小学校への案内チラシの配付を始めとして、PR方法について協議を行う。	○各館で年1回開催	—	—

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	福岡県子ども読書活動推進事業	学校図書館との連携を進めながら、読書活動応援隊を活用した子どもの読書活動の推進を図る。	○読書活動応援隊の活動についてPRを行うことにより、活動に対する理解を深め、応援隊の人員確保に努め、小・中学生への読書活動を推進する必要がある。	未定	○読書活動応援隊を活用した小・中学生の読書活動支援事業	○読書活動応援隊の活動について、効果的なPR方法を検討する。学校における子どもの読書活動について、現在の活動状況を把握しながら、より良い事業内容について検討を行う。	○年1回開催	—	—
11	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	秋の読書まつり	市民が図書館に親しむ機会を提供し、もって図書館の利用を促進する。	○館内での協議についてできるだけ早めに取り掛かり、スムーズな運営ができるように努める必要がある。	10月～11月	○図書館スタンプラリー ○本と雑誌のリサイクル市 ○おはなし会スペシャル ○付録抽選会	○事業を円滑に実施するため、館内協議を始め、協力体制の充実を図る。	○雑誌リサイクル市/各館で年1回 ○おはなし会スペシャル/各館で年1回 ○付録抽選会/山田図書館で年1回	—	—
12	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	読書講演会	年度ごとにテーマを定め講演会を年1回行い、市民の読書活動と図書館利用の推進を図る。	○広報が不足していたため、参加者が定員を下回った。PR方法や周知の時期について、検討する必要がある。	11月23日	テーマを検討し、子どもから大人まで年齢に関係なく楽しめる講演会を碓井図書館で開催する。	○講演のテーマについて、子どもから大人まで年齢に関係なく広く多くの方に参加していただけるような内容を検討する。 ○PR方法や周知の時期について検討を行い、より多くの方に参加いただけるように周知を図る。	碓井図書館で1回開催	うち報償費 200千円	—
13	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	図書館教養講座(ラクラク読書会)	読書に親しむ機会を設け、図書館利用を促進する。	○定員を下回る参加者数となっているため、PR方法を検討する必要がある。	6月～12月	ラクラク読書会 短編小説等を音読をするとともに、参加者同士で意見交換を行い、読書が苦手な方でも楽しみながら本に触れることができるような取組とする。	○広く事前周知を行い、多くの方に参加していただけるようにPR方法を検討する。	大人向け教養講座/1館で年6回連続開催	うち報償費 48千円	—

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
14	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人のためのおはなし会	大人を対象にしたおはなし会を開催し、癒しの時間や今までと違った本との出会を提供することで、図書館利用を促進する。	○開催時期や時間について、より多くの方の参加が望めるような設定を検討する必要がある。 ○開催に際しては、読書ボランティアの協力が必要不可欠なっている。準備期間に余裕を持ち、ボランティアとの意見交換を進めていく必要がある。	未定	特定のテーマを設定することにより、市民の興味・関心を促しながら、絵本の読み聞かせや朗読等を行う。	○開催時期や時間について、協議を行い、参加しやすい日程を検討する。 ○読書ボランティアとの協議を早めに行い、十分な検討ができるように配慮する。	1館で年1回開催	—	—
16	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	高齢者向け読書事業	高齢者層のニーズに合わせた事業を展開することにより、図書館利用を促進する。	—	未定	他部署の高齢者向け事業において、ブックリストの配付や図書館利用のPR等を行う。(その他の事業内容については、効果的な取組を検討した上で、実施することとする)	—	未定	—	—
17	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	図書館資料の特集展示	時事や地域文化に関するテーマ設定を行い、図書館資料を定期的に展示することにより、図書館利用を促進する。	○利用者のニーズを把握し、図書館から魅力あるテーマを提案できるように検討する必要がある。また、PRを積極的に行い、広く周知する必要がある。 ○本の福袋については、引き続き利用者におすすめの本を提案していただくことで、多彩なジャンルの福袋を提供していく。また、PRの時期・方法等も検討する必要がある。	4月～3月	○一般図書・児童図書の特集展示(毎月) ○本の福袋	○館内協議を行い、図書館資料の広がりや豊かさを感じていただけるようなテーマ設定を行う。また、PRを積極的に行い、利用を促す。 ○本の福袋については、利用者におすすめの本を提案していただきながら、児童図書から一般図書までジャンルの偏りが無いように配慮する。また、多くの方に広く興味をもっていただけるように事前PRを行う。	一般図書・児童図書の特集展示/月1回 ・本の福袋/年1回開催	—	—

平成31年度嘉麻市立図書館事業計画表(案)

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
18	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	③ 図書ボランティア養成事業	読書ボランティア研修・講座	より充実した読書活動推進のための事業展開を図るため、読書ボランティアの養成及び支援を行う。	①読書ボランティアスキルアップ研修 ○ボランティアのニーズを考慮し、より多くの方々に受講していただけるような内容の検討が必要であり、事前準備を早めに行うとともにPR方法を工夫する必要がある。 ②新規ボランティア養成講座 ○今後、ボランティア活動について、できる限り参加者の要望を考慮しながら、より参加しやすい形で長く継続していただけるように図書館側の支援体制について検討する必要がある。 ○ボランティア活動を広く市民にPRし、資料の大切さについて理解を広めるとともに、図書館や読書について広く関心をもってもらえるような働きかけを行う必要がある。	未定	○読書ボランティアスキルアップ研修 子どもの読書活動に関する研修 ○新規ボランティア養成講座 内容検討中	①読書ボランティアスキルアップ研修 ○現在活動している読書ボランティアの意見を参考にして、研修内容を検討する。 ○事前準備を早めに行い、PRを工夫する。 ②新規ボランティア養成講座 ○ボランティア活動を広く周知し、理解を深める働きかけを行う。	○読書ボランティアスキルアップ研修／回数未定 ○ボランティア養成講座／回数未定	図書館ボランティア養成事業総額 65千円 うち報償費 20千円	—

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【美術館係】

番号	アクションプラン主要事業	アクションプラン実施内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
1	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的創造活動の推進	① 文化芸術活動推進事業	文化芸術活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市の文化協会等の関係団体と連携し、市民の主体的、自主的な展示活動やアトリエでの創作活動を支援する。 学校等と連携して、児童生徒等の芸術鑑賞や創作活動を支援する。 蓄積した知識や情報を活用し、地域等での美術館（出前学習）を実施し学びを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も美術館の活用と周知を図るため関係団体と連携し、連携、協力することが必要。 会場や対象に合わせた短時間で体験できる創作プログラムの開発が必要。 公民館や施設側との準備、タイムスケジュールの確認が必要。 地域等への出前体験調査を実施するにあたり、道具の置き方、作業場所、作業の流れなどの確認が不十分なところがあった。 常設展示の見せ方を工夫し、織田展や地元作家たちを知ってもらう機会を増やすことが必要。 次年度以降は、展覧会関係と自館の収蔵品に焦点を当てた内容も学校に提案する必要がある。 学校の年間計画が決まる前に企画の提案を行う必要がある。 博物館実習及び職場体験学習の受け入れ期間を自館の企画展の時期以外に設定する必要がある。時間的な余裕がある時期に受け入れ、より丁寧な指導を心がける。 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 美術館を活用する、関係団体の活動支援。 地域の子どもたちや高齢者などに美術体験の機会の提供。 織田展や収蔵品を紹介する出前学習の実施。 博物館実習などの受け入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との連携、協力及び支援に努める。 短時間体験創作プログラムの工夫、開発。 事業実施に当たり、事前協議を行う。 事前の打ち合わせ、試作を急に行い、作業が円滑に進むようにする。 出前学習の実施を通して出来た関係を途切れさせないよう、美術館側からの継続的な連携の呼びかけを行う。また、企画内容や実施可能時期等の打合せを十分に行い、各学校の実態に合った形で連携を図る。 博物館実習及び職場体験学習については、企画展や、作業スケジュールを動かし、受け入れの可否を検討する。 	適宜		<ul style="list-style-type: none"> 【関連機関・事業】 市文化協会 嘉麻市文化芸術祭 嘉麻市文化祭inうすい 等美術展覧会 市内小学校等 県小学生児童画展嘉麻市展 各地区公民館 ときめき学習 [7～8月] 冬休みいきいき体験 [12月] オレンジサロン 社会教育事業 ゆめ祭り、子どもフェスタ、図書館連携事業 [工作会、学芸出張]
2	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的創造活動の推進	② 美術館運営管理事業	美術館運営管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 美術館を訪れる人々が、快適な環境で安心して、芸術鑑賞や創作、展示等の文化芸術活動を行い、また、憩いの場となるように施設の維持管理と運営を行う。 広く美術館や事業等の周知に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全な快適な環境を継続して維持し施設の管理を行う必要がある。 築20年を経過しており、空調設備や電気設備の改修や建物設備の老朽化による修理などが想定される。 社会教育施設全体の見直しの中で、施設の在り方の検討が必要。 入館料、使用料、減免など、施設の運営などについて検討を行う必要がある。 今後とも展覧会についてSNSやホームページでのいち早い情報提供に努める。 可能な範囲内で展示室の明るさの均一化を図る必要がある。 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な環境の中で作品鑑賞や創作活動などが行えるよう、継続して保守点検や清掃、警備などを委託し、維持管理運営に努める。 経年劣化している空調設備や電気設備の見直し修理。 入館料や減免の見直し。 美術館ホームページの管理委託とその活用。 展覧会案内リーフレットの作成と配布。 筑豊美術館ネットワークでの連携（情報交換や連携事業） 美術館運営協議会の開催。 確井庁舎敷地内の案内看板の美術館敷地内への移設。 一部展示室の照明計画の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> 設備の修理、整備を行い、維持管理に努める。 空調設備などの修理計画書の作成依頼。 県博物館協議会加盟の美術館等を通じて検討資料の収集に努める。 市ホームページや美術館ホームページやソーシャルネットワーク、マスコミやリーフレット等を活用し、美術館と企画展の周知に努める。 近隣美術館と情報交換などを重ね連携を深める。 スロットライトなどを活用し、隣接する展示室同士の明るさを近づける。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 報酬 : 138千円 賃金 : 7,329千円 旅費 : 63千円 消耗品費 : 664千円 燃料費 : 4,106千円 印刷製版費 : 632千円 光熱水費 : 13,986千円 修繕料 : 100千円 役務費 : 467千円 委託料 : 4,476千円 使用料賃借料 : 478千円 工事賃借料 : 609千円 負担金 : 15千円 	<ul style="list-style-type: none"> 【関連機関】 田川市美術館 直方谷尾美術館 県立美術館 県博物館協議会加盟館
3	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的創造活動の推進	② 美術館運営管理事業	確井等公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する公園が人々の憩いの場として快適かつ安心して活用できるよう環境美化と維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し公園の維持管理に努める。 オカメ笹と草刈の範囲の見直しが必要。 公園を巡回し、芝生内の石やゴミを取り除いたり、状況の確認が必要。 公園内トイレや公園内手洗い場の水栓が開放状態になったままの事業がある。 公園内モニュメント（シーソーと飛行機）修理などが必要である。 確井等公園の案内と利用をPRする必要がある。 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 美術館等施設敷地内及び隣接する公園内の清掃、草刈オカメ笹剪定や芝生、樹木等の維持管理。 危険木の伐採など トイレの維持管理。 公園内モニュメントの改修（飛行機の修理とシーソーの固定化） 	<ul style="list-style-type: none"> 草刈、オカメ笹剪定の範囲の見直しを行い、敷地内の適切な維持管理に努める。 トイレの壁の雨漏り等に公園を巡回しゴミや石を拾ったり注意喚起に努める。 公園内モニュメントの点検結果に基づき適切な処置を行う。 ホームページを活用し、公園の案内を行う。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費 : 15千円 光熱水費 : 31千円 修繕料 : 60千円 委託料 : 7,218千円 	<ul style="list-style-type: none"> 【関連機関】 環境衛生係
4	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的創造活動の推進	② 美術館運営管理事業	収蔵作品等の保存及び管理	<ul style="list-style-type: none"> 適切な環境の下、収蔵作品及び展示作品の保存・管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 時期によって、収蔵庫及び展示室の湿度が不安定になる為、安定した湿度維持のための対策を講じる必要がある。 収蔵庫内のカビ発生防止のため、今後定期的な清掃を実施する必要がある。 館内の有機物（植物、土等）持ち込み禁止等の規制事項について、施設利用者への周知を図り、理解を得る必要がある。 作品の虫害被害がないか定期的な目視確認と可能な限り施設への虫の侵入を防ぐ対策が必要。 1つの所蔵作品につき複数の台帳番号（受け入れ番号、分類番号、収蔵番号）が振られている為、いずれかに統一する必要がある。 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵品データの見直し及び台帳記入内容の統一化。 作品修復の実施。 所蔵品の写真撮影委託。 空調設備の管理業者との連携による空調設備維持。 収蔵庫の定期清掃。 虫害等の防止体制強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の管理業者との連携を強化し、問題が発生した際の迅速な対応を図る。また、既存の設備による対応が困難な場合、代替え案（除湿機使用など）による環境保全を図る。 IPMに関する基本方針の作成に努める。 毎日の湿度確認を行い、異変が見られる場合は迅速且つ適切な対応を取る。 収蔵庫内の清掃計画を立て、継続的に実施する。また、スリッパや掃除機などを適切に使用し、収蔵庫内へのホコリや虫などの侵入を防ぐ。 日常業務の中に館内外の環境確認を取り入れ問題点の予防及び早期発見に努める。 館内の生物侵入記録を基に侵入経路の特定。必要な対策を講じる。 これまでの資料データの整理、資料カード記入方法の見直しを行う。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 旅費 : 4千円 消耗品費 : 70千円 修繕料 : 3,740千円 委託料 : 2,876千円 工事賃借料 : 372千円 備品購入費 : 238千円 	<ul style="list-style-type: none"> 【関連機関】 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 長野聡史写真事務所 工房アルテ
5	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的創造活動の推進	③ 企画展事業	春のレバコ展 2020	<ul style="list-style-type: none"> 当館では織田展を中心として、他、地域職の作家などの作品を所蔵している。それらの作品を常設展示とは別に特別展示として展示公開し、当館の誇る名品の魅力を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 展覧会の周知に関して、今後はSNSでの告知も強化し、若年層の来館を促す。 作品及び作家の調査を日常的に行い、コレクション展に反映させていく必要がある。 常設展示の定期的作品の展示替えが不定期であり、作品の劣化と、展示構成のマンネリ化も懸念される。 	2月29日～4月12日	<ul style="list-style-type: none"> 所蔵品を活用した展覧会を開催する。 常設展示の定期的作品の入れ替えを計画的に行い作品の保護と展示内容のマンネリ化を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> 周知を図るため、事前のPR活動を行う。 春のコレクション展の実施計画を立て、細かなスケジュールを作る。 データ整理と確認作業に努める。 図書館や公民館など、関係施設との連携を強化し関連イベントなどの充実を図る。 	1回 (38日)		<ul style="list-style-type: none"> 【関連事業】 ワークショップ 出前授業 【関連機関】 市内小学校等

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画									
					Plan・Check					Do・Action				
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携		
6	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	花村えい子と漫画	<p>2019年に画業60周年を迎える花村えい子は日本の少女漫画の礎を築いたレジェンドの一人。</p> <p>近年海外においても「Kawaii」というキーワードが用いられるなど、日本の少女ファッションは世界中から注目されている。本展覧会では、花村えい子の60年にわたる熱心な仕事ぶり、少女漫画史によって、今なお放ち続ける花村ワールドを紹介する。また織田廣喜の作品においても特に知られて人気があるのが「少女シリーズ」である。今回の花村えい子の描いた少女群とともに、織田廣喜の少女たちもその魅力を紹介していく。</p> <p>・関連商品の販売においては商品の種類が多く、また、来場者も週末に集中するなど商品販売にあたる職員の間断勤務など負担が大きくなった。</p> <p>・通常の授業との兼ね合いにより、展覧会期間中に作品を完成させることのできなかった生徒がいた。</p>	7月20日～8月25日	<p>・1950年代後半からの漫画原画（カラー、モノクロ）および関連資料（当時の書籍、販売商品等）、花村えい子と交友関係にあった漫画家、影響を与えた作品などを展示する。</p> <p>花村えい子（はなむらえいこ） 日本の漫画家・アーティスト。埼玉県越前市出身。社団法人日本漫画家協会理事、東京工芸大学芸術学部等身教授、フランス国民美術協会（ソシエテ・ナショナル・デ・ポザール）の会員。</p> <p>・レディースコミックの先駆者で、ミステリコミックも多く手がける。1959年日本向け単行本「虹」（金剛社）に『紫の妖精』でデビュー。1964年「ななよし」（講談社）に『白い花につづく道』で少女誌にデビュー。可愛い少女のイラストがコミック誌付録の着せかえやぬり絵、シールなどが大人気となり、文具商品のキャラクターとして多くのイラストが起用され、人気を博す。1975年頃より活躍の場をレディースコミックに移す。</p> <p>・1999年第18回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞。1997年金案「マンガ日本の古典」（小学館）の『森羅物語』で第1回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞を受賞。</p> <p>・2007年、フランス国民美術協会展2007の日本代表に選出され作品40点を展示、特別賞受賞。2017年フランス国民美術協会展賞受賞。</p> <p>・現在は展覧会への出品、商品パッケージのイラストなど多岐に渡り活躍中。</p>	<p>委託販売商品の種類の精査及び販売補助のパートタイムでの臨時職員の雇用をおこなう、事務量軽減に努める。</p> <p>担当教諭と連携を密にし、活動の進捗度に応じて補助を図る必要がある。</p>	3日	<p>賞金 : 250千円 消耗品費 : 89千円 印刷製本費 : 133千円 運搬運搬費 : 65千円 委託料 : 1,817千円</p>	<p>【関連事業】 ・コンサート ・ファッションショー ・市内図書館に少女をテーマとした特設コーナーの設置（図書館係）</p> <p>【関連機関】 ・図書館係</p>			
7	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	馬場さおり写真展	<p>本展覧会は、嘉麻市健康課との連携により、馬場さんの講演会を美術館内にて開催し、乳がん検診の受診率をあげていくことはもとより、現在治療を受けている市民やその関係者に向けて、今現在もがんと向き合い活動続ける馬場さんからのエールを送る。</p> <p>前年度実施なし</p>	9月28日～10月20日	<p>・九州産業大大学院で写真を勉強中に若年性乳がん診断を受けた後から自身の肖像写真を撮影をはじめ、術後の現在も自身の中に流れる血液の中にがん細胞がある現実と向き合いながら、乳がん発症経験者としてがんと向き合い生きる姿を発信し続ける写真家、馬場さおりさんの写真展。</p> <p>馬場 さおり（ばばさおり） 1978年生まれ。九州産業大大学院芸術研究科写真領域在学中、2013年米国National Geographic 誌英語版8月号に編集者選出でYour shot掲載。14年同誌WEB版 Assignments & Stories 編集者選出で「Time Capsule」に掲載（11月）。2013年1月、作者はステージIIb期の若年性乳がんと診断された。</p>	前年度実施なし	20日	<p>賞金 : 84千円 旅費 : 2千円 消耗品費 : 137千円 印刷製本費 : 133千円 運搬運搬費 : 65千円</p>	<p>【関連事業】 ・講演会9月29日（日） 健康課事業 ・ピンクリボンライトアップ</p> <p>【関連機関】 ・健康課健康推進係</p>			
8	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第75回県美術展覧会筑豊展	<p>・たくさん来場者を迎えることだけが成果ではなく、出品者や次世代の愛好家を増やすことも大切である。</p> <p>・出品者全体の高齢化があるが、高齢層、若年層それぞれに向けた出品の呼びかけも必要である。</p> <p>・洋画部門で展示後に画面への傷が発見されたが、作家本人の同意のもとで仮的な処置を施した。</p> <p>・額の中で作品がずれている作品が複数発見された。受付の時点で作品の固定方法などについて周知が必要。</p>	<p>【I期】 10月29日～11月4日 【II期】 11月6日～11月10日 【III期】 11月12日～11月17日</p>	<p>・県展の出品募集の段階から美術館についての告知の充実や、嘉麻市文化協会への募集を案内し、筑豊地区からの出品者や入選入賞者数の向上を目指す。</p> <p>・作品搬入から搬出までの作業において、作品の状態検査などを改めて注意しながら行い、事故防止に努める。</p>	18日	<p>賞金 : 47千円 講師謝礼 : 57千円 謝礼 : 97千円 概算金 : 10千円 消耗品費 : 50千円 印刷製本費 : 135千円 運搬運搬費 : 66千円 委託料 : 781千円</p>	<p>【関連事業】 ・合評会 第1期 11月4日（日） 第2期 11月10日（日） 第3期 11月17日（日）</p> <p>【関連機関】 福岡県美術展覧会実行委員会 福岡県美術展覧会筑豊巡回展実行委員会</p>				
9	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	③ 企画展事業	第3回アートキッズ展	<p>・アートキッズの子どもたちが美術館の収蔵作品を活用し、子どもたちの豊かな感性や視点、発想で企画、立案した企画展を開催し、収蔵作品の新たな魅力を引き出す。</p> <p>・子どもの視点でプロデュースされた企画展を通して来館者に美術教育の大切さを実感してもらおう。</p> <p>・キャプションの文字が小さく、位置も低かったため、読みにくかった。</p>	12月14日～1月26日	<p>・教育普及事業「アートキッズ」で公募した児童スタッフが、収蔵作品を活用して企画立案したことを形にした子どもたちの手による企画展の開催。</p> <p>・期間中子どもたちによるギャラリートークの開催。</p>	<p>展示の際は、キャプションの文字サイズや位置を子どもでもわかりやすいものにする。</p>	3日	<p>消耗品費 : 59千円 印刷製本費 : 136千円 運搬運搬費 : 66千円</p>	<p>【関連事業】 ・美術館ボランティア事業 ・アートキッズ（教育普及事業）</p>			

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【美術館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	Plan・Check		Do・Action						
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携	
10	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術館ボランティア事業	・会議や講師との事前学習や事業に参加しながら、子どもたちの美術活動の充実を支援する。 ・活動を通して美術館活動に関わる人材の育成と相互の連携、仲間づくり。	・高齢のボランティアも多く、来年度以降のボランティア登録が難しい登録者が多数いる。 ・日曜日に開催される事業への参加は家の都合などで難しいというボランティア登録者が多い。	4月～3月	・市広報やホームページ、大学や高校を通して、ボランティア登録者の募集を行う。 ・ボランティア会議及び研修会の実施と情報提供を行う。 ・子ども向け講座やその他美術教育普及事業のサポート。	・日曜日に開催の事業以外にも活躍できる場を提供する。（夢まつりやオレンジサロン、ときめき学習など） ・近隣の大学や高校などにボランティア事業の周知を行い、日曜日の事業に参加可能な新規ボランティアの獲得に努める。	随時			【関連事業】 ・アートキッズ ・体験講座 ・企画展 ・文化芸術活動推進事業 【関連機関】 ・福岡県立大学社会貢献・ボランティア支援センター ・稲築志耕館、大隈城山高校
11	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	アートキッズ	・様々な芸術体験を通して面白さや楽しさを感じることにより、豊かな発想力を養い、感じたこと、想像したことをそれぞれの方法で創造し、表現する力を養うことにより豊かな感性を育む。	・受講者選出に当たり市内を優先しているが市外の申込者も多く、抽選方法の見直しが必要 ・オイルパステルや色鉛筆などを使った後順番がバラバラになっていた。片付けの指導までなかなか時間内にできなかった。	6月～1月	対象：小学生 募集定員：20名 回数：14回 日時：日曜日 10:00～12:00 ・収蔵作品の鑑賞、調査、作品制作などを行いながら、その成果として子どもたちの企画立案による企画展「アートキッズ展」を開催する。 ・陸井図書館のガラスケースに作品を展示（10月末～12月末）	・抽選方法について、他の公民館事業、美術館博物館の事例を参考に検討する。 ・片付けのルールなどを最初に決めておき、グループの中で声かけて片付けるよう指導を行う。	14回	講師謝礼 : 47千円 旅費 : 2千円 消耗品費 : 30千円	【関連事業】 ・美術館ボランティア事業 ・企画展「アートキッズ」	
12	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	近畿大学連携事業	・様々な芸術体験を通して面白さや楽しさを感じることにより、豊かな発想力を養い、感じたこと、想像したことをそれぞれの方法で創造し、表現する力を養うことにより豊かな感性を育む。	・一晩城祭りと同様に開催日が重なり、参加できない児童がいた。 ・細かい下絵も多く、ドット絵化がむずかしいも多かった。青海波模様など下絵を再現できていないところもあった。 ・モチーフがかぶっていた。 ・ファッションショーの際、音声が聞き取り辛いところがあった。 ・体育館から、美術館に移動中に配線が取れ、ファッションショー直前に機械が作動しないなどのトラブルがあった。	10月	対象：小学生 募集定員：20名 回数：1回 2日間 日時：土曜日、日曜日 10:00～16:00 2日日夜にイベント開催 18:30～19:30 講師：金子 哲大、高橋 圭一 ・近畿大学産業理工学部と連携し、絵と映像、音、光を使った創作、演出などの創作活動を行うことで、新たな価値観や発想力を養い、デザインする面白さを伝える事業を実施。	・市のイベント、学校、教育機関と日程が重複しないように調整を行う。 ・下絵を美術館に事前に提出してもらうなど工程の見直しを行う。 ・自分の描きたいモチーフについてそれぞれ話し合う時間を設ける。 ・イベントの前に入念に音響の設定や、機械の作動の確認を行う。	1回 (2日)	講師謝礼 : 38千円 謝礼 : 56千円 消耗品費 : 20千円	【関連機関】 ・近畿大学産業理工学部	
13	7 市民文化の創造	(1) 美術に関する創造的活動の推進	④ 美術教育普及事業	美術講座	・様々な分野の芸術を体験する機会を提供し創作活動を行う中で芸術への興味を深め、豊かな感性と表現力を磨き、心豊かな人材を育む。	・それぞれに好きな作家や好きな美術館があるようだったが、グループワークが少なく話す機会がなかった。 ・アンケートでは、今回のような座学を中心に、知識を深める講座を望む声と実用できる技術を学び、作品を作りたいという声があった。	①12月～1月 ②9月～11月	①体験講座【実技】鉛筆画 対象：成人 募集定員：10名 回数：4回 日時：金曜日 10:00～12:00 講師：高倉 房子 ※4回で作品を1枚制作。等平美術展覧会に展示。 ②美術講座【教養】 対象：成人 募集定員：30名 回数：年3回 日時：土曜日 13:00～15:00	・自己紹介等話しあう時間を設け、受講生同士が仲良くなるきっかけを作る。 ・技術を学び、作品を制作する講座と美術史などを学ぶ教養系の2つの講座を開講する。	7回	講師謝礼 : 67千円 旅費 : 2千円 消耗品費 : 20千円		

平成31年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表

【文化財係】

番号	アクションプラン主要瀬策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	文化財保護審議会	嘉麻市文化財保存活用基本計画案の作成と審議	嘉麻市文化財保存活用計画案の審議	8月 12月 3月	嘉麻市文化財保存活用計画の基本計画案等について審議	審議会でのフィールドワークを実施し、計画案に反映させる。	開催回数:3回	183千円	—
2	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	指定文化財の維持管理	国・県・市指定文化財の管理・監督を適切に行うこと	国指定重要文化財「華文刺繍陣羽織」の保管	通 年	・指定文化財への補助金 ・指定文化財等の日常管理 ・指定文化財所有者等への指導・助言	「陣羽織」の保管・活用方法について、国・県・庁内関係部署と協議しながら検討する。	補助金:3件 日常管理:4件	1,563千円	—
3	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	① 郷土の歴史文化を守る事業	文化財調査	市内に残る多様な文化財の適切な保護を図ること	未指定文化財の調査と保護	通 年	・開発行為等の事前審査 ・埋蔵文化財の再整理(国庫) ・古文書の調査・整理 ・未指定文化財等の調査	未指定文化財の現況調査を実施し、基本計画に反映させる。	—	5,123千円	—
4	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	② 郷土の歴史文化を伝える事業	歴史民俗教育普及事業	郷土の歴史文化を周知し、文化財を活用すること	平和イベントにおける若年層の取り込み	4月 8月 10月 2~3月 通年 通年	・春季沖出古墳特別公開 語り伝える戦争の話 ・秋季沖出古墳特別公開 掘ったバイ筑豊シンポジウム ・歴史ボランティア育成 ・学習支援/講演会講師等	平和イベントの開催方法等の見直しを図る。	主宰事業数:5回	2,967千円	—
5	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	稲築文化ふれあい伝承館運営	老朽化した施設を適切に管理すること	施設の老朽化に伴い修理等が増加	通 年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明	山野の楽保存会と連絡調整しながら、修理等については早期に対応する。	—	2,856千円	—
6	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	嘉穂ふるさと交流館運営	収蔵資料の台帳整備と移管	資料台帳の未整備	通 年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明 ・資料の貸出等 ・収蔵資料の台帳整備	収蔵資料の整理を進めると共に、収蔵資料の移管先について検討する。	—	1,074千円	—
7	7 市民文化の創造	(2)文化財の保護・継承・活用	③ 郷土の歴史文化拠点施設活用事業	郷土館・平和祈念館運営	碓井平和祈念館の常設展示内容の変更	収蔵資料の活用を図る。	通 年	・施設の日常管理 ・施設の案内説明 ・資料の貸出等 ・収蔵資料の台帳整備	碓井平和祈念館の常設展示替えを実施し、周知を図る。	—	5,307千円	—

平成31年度 嘉麻市教育委員会 スポーツ推進課事業計画表

- ・ プロジェクトK・スポーツ推進係 1～3
- ・ 施設管理運営係 4

平成31年度嘉麻市教育委員会 スポーツ推進課事業計画表

【プロジェクトK・スポーツ推進係】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	平成31年度事業計画							
					Plan・Check		Do・Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携
1	5 体力及び運動能力向上の推進	(1)スポーツによる地域の活性化	スポーツコミュニティ創造事業	スポーツ推進委員・指導者派遣事業	地域のスポーツに関するコーディネーターとしてスポーツ推進委員・指導者を派遣します。運動・スポーツの社会的意義の重要性を広める担い手として活躍してもらいます。	スポーツ推進委員は学童保育所出前講座を中心に事業展開し、運動指導対象者の拡充を図ってきましたが、運動指導は子どもに対する指導が中心となっています。より地域に密着した事業展開を実施するため、平成30年度から嘉麻市社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン取り組み団体を対象に運動支援を始めましたので、今年度も事業の拡充が必要です。	通年	①運動能力アップ親子塾は年中から小学3年生とその保護者を対象に家庭でもできる運動遊びを紹介することで、親子のスポーツ機会の充実を図ります。(スポーツ推進委員) ②学童保育所出前講座は児童に対してコーディネーショントレーニングとニュースポーツ等の運動指導をすることで、子どものスポーツ機会の充実を図ります。(スポーツ推進委員) ③嘉麻市社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン取り組み団体の申し出に応じて地域の公民館等に向いて運動指導を実施することで、市民のスポーツ機会の充実を図ります。(スポーツ推進委員・地域活動指導員) ④スポーツ推進委員や地域活動指導員に各種研修会への参加を促進することで、指導員の資質の向上を図ります。(スポーツ推進委員・地域活動指導員)	嘉麻市社会福祉協議会のふれあいいきいきサロンの取り組み団体を対象とした出前講座を推進します。また、地域における様々な年代に対する指導を目指して、生涯学習課や高齢者介護課、健康課と連携した事業を展開します。	①年4回 ②各学年年3回 ③各団体年2回で2年継続		・高齢者介護課 ・社会福祉協議会
2			スポーツ情報提供事業	スポーツイベントやスポーツ団体組織、スポーツ運動施設など身近な情報を提供します。また、運動・スポーツの社会的意義の重要性を広く市民に伝えます。	嘉麻市スポーツ情報ホームページを開設し、施設利用案内や教室・イベント情報、スポーツ団体情報、プロジェクトKの取り組みなど嘉麻市のスポーツ情報の集約を図り、情報提供してきました。掲載してきた情報は、市が主催する事業が中心でしたので、今後は各種スポーツ団体の情報も掲載するなど内容の充実を図ることが必要です。	通年	①スポーツ教室やイベントに関する情報は、開催周知や実施状況に関する情報を嘉麻市スポーツ情報ホームページに掲載します。 ②市体育協会や市内のスポーツ団体、指定管理者のスポーツ教室や活動に関する情報を嘉麻市スポーツ情報ホームページに掲載します。	嘉麻市スポーツ情報ホームページにおいて、目的別に様々なスポーツ情報を得ることができるよう、市体育協会や市内のスポーツ団体、指定管理者の情報など掲載内容の充実を図ります。	随時		嘉麻市体育協会	
3			スポーツによるコミュニティ創造事業	市民に対してスポーツを実施する機会を提供するとともに、継続的にスポーツができるようにサークル設立を支援します。また、スポーツに関する情報発信を行うことでスポーツ人口の増加を図るとともに、市民の交流の機会を提供します。	平成28年度から鴨生地区をモデル地区として、地域活動指導員による出前講座を試行してきました。鴨生地区の試行を踏まえ、平成30年度は嘉麻市社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン取り組み団体を対象に出前講座を開始しました。今後も事業の拡充が必要です。	通年	地域活動指導員やスポーツ推進委員が地域の公民館等に向き、運動指導することにより、市民の憩いの場の創出を図り、市民が健康づくりに取り組みながら地域コミュニティが形成できるよう支援します。	事業の拡充を目指し、高齢者介護課及び社会福祉協議会と連携し、ふれあいいきいきサロン取り組み団体にに対して出前講座の啓発を行います。	各団体年2回で2年継続		・高齢者介護課 ・社会福祉協議会	
4			スポーツ・健康教室開催事業	誰もが参加できるスポーツ教室やスポーツ教室間の交流事業を展開し、スポーツを通じたコミュニティづくりを目指します	託児付きの教室や産後の母親を対象にした教室、高齢者の男性を対象とした教室を実施し、参加者層の偏りや固定化の解消を図ってきました。高齢者男性を対象とした教室の参加者が少ない状況であるため、参加者の増加を目指した対策が必要です。	通年	①健康運動教室及びリズムカルフィットは、嘉穂総合体育館や稲葉体育館において定期的な運動教室を実施することで、市民のスポーツ機会の充実を図るとともに新たなコミュニティの形成を図ります。 ②産後ママのリフレッシュケアは0歳児を養育する母親を対象に自宅でできるトレーニングや食事指導を実施することにより、産後の母親のスポーツ機会の充実や健康増進を図るとともに新たなコミュニティの形成を図ります。 ③男性向けや障がい者に対するスポーツ教室を実施することにより、参加者層の拡充を図るとともに、男性や障がい者のスポーツ機会の充実を図ります。	高齢者男性向け教室は30年度の取り組み実績を踏まえ、開催時期や時間帯の再検討を図ります。また、周知方法も広報嘉麻やホームページへの掲載など情報提供の充実を図ります。	①健康運動教室は月4回、リズムカルフィットは未定 ②未定 ③未定			
5		(2)スポーツ環境の整備	スポーツ施設情報提供事業	施設の利用を促進するため、新しい施設の活用方法について情報を提供します。	スポーツ施設を活用したウォーキング・ジョギングコースの増設を図るとともに、市民が気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設で実施できる運動を情報提供することが必要です。	通年	市内のスポーツ施設において、施設の利用者やその保護者及び観覧者等が気軽に施設内でウォーキング・ジョギングできるよう施設周辺のウォーキング・ジョギングマップを設置することで、ウォーキング・ジョギング人口の増加を図ります。	スポーツ施設を活用したウォーキング・ジョギングコースの増設を進めます。また施設で実施できる運動を広報嘉麻やホームページで情報提供します。	随時			
6			人間に有益なスポーツ運動施設の改善事業	脳機能の発達促進を目指し、身近な家庭環境からスポーツ施設まで公共施設までと広範囲のため、まずは身近な家庭環境に対する心理的・行動的に有益な環境づくりへの取り組みが必要です。平成30年度は荒木先生の研修会を実施しましたが、より多くの市民への啓発が必要です。	環境整備の対象は、身近な家庭環境から公共施設までと広範囲のため、まずは身近な家庭環境に対する心理的・行動的に有益な環境づくりへの取り組みが必要です。平成30年度は荒木先生の研修会を実施しましたが、より多くの市民への啓発が必要です。	未定	①「荒木式」スポーツコーディネーショントレーニング教室受講者の保護者に対して荒木秀夫教授による脳機能発達を目指したスポーツ環境の整備に関する講話を実施することで、身近な家庭環境における脳機能の発達を意識した環境づくりの啓発を図ります。 ②嘉麻市スポーツ情報ホームページにおいて、荒木教授による脳機能発達を目指した生活環境の改善に関する研修会の内容を情報提供します。	荒木先生の研修会の内容をまとめたパンフレット等を作成し、市民への情報提供を図ります。	未定			

平成31年度嘉麻市教育委員会 スポーツ推進課事業計画表

【プロジェクトK・スポーツ推進係】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	平成31年度事業計画								
					Plan・Check		Do・Action						
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携	
7				自然のなかでの豊かな運動環境の開発事業	脳機能の発達促進を目指し、自然や文化を活用した運動環境を整備します。	史跡や自然を活用したコースの増設を図りながら、随時イベントを開催することが必要です。また、イベントを実施したコースを市民が手軽に利用できるよう情報提供することが必要です。	未定	①市内の史跡などを巡るウォーキングコースやトレッキングコースを作成しイベントを実施します。 ②嘉麻市スポーツ情報ホームページにおいて、コースの案内やイベント情報を随時情報提供します。	市内の史跡など教育・文化資産を活用し、その所屬機関と連携を図りながらコースの増設、イベントの開催を実施します。また、市民が気軽に何度でもコースを利用できるようコースの案内表示や情報提供の充実を図ります。	未定			生涯学習課文化財係
8	(3)生涯スポーツの推進	プロジェクトK事業	子育て・育ち支援事業	0～3歳の乳幼児を対象としたコーディネーショントレーニングを普及します。	指導者の育成については、指導者用DVDを市内の乳幼児施設に配布し、また、荒木名誉教授による研修会を実施してきました。保護者への啓発は、啓発冊子を作成し、健康課を通じて保護者に配布しています。運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象とした荒木名誉教授によるこどもクリニックも実施しています。年々こどもクリニックの要望が増加しており、動きの気になる子などを対象にした支援の充実を図ることが必要です。	通年	①乳幼児施設職員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施することにより、乳幼児施設指導者の育成を図ります。 ②家庭でできる乳児コーディネーショントレーニングガイドブックの改訂版を作成し配布することにより、保護者が家庭でトレーニングできるよう普及を図ります。 ③子どもの発達に不安のある家庭を対象に荒木教授とマンツーマンでコーディネーション理論の観点から子どもの様子を観察しアドバイスを行う「こどもクリニック」を実施することにより、保護者が子どもの発達に応じた子育てができるようトレーニングの普及を図ります。 ④こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。	動きの気になる子などを対象にした支援については、今後も指導者の育成を図るとともに、保護者向けの啓発、こどもクリニックの開催や情報の共有など支援の充実を図ります。	①1～2回 ②随時 ③10回程度 ④随時	スポーツ振興くじ助成金	こども育成課 ・健康課 ・市内乳幼児施設		
9			保育、幼児教育の推進事業	3～6歳の幼児を対象としたコーディネーショントレーニングを普及します。	指導者の育成については、指導者用DVDを市内の乳幼児施設に配布し、また、荒木名誉教授による研修会を実施してきました。指導については、公立保育所は市保育士による定期的な実技指導を実施し、私立保育園・幼稚園にはトレーニングが取り組めるよう財政支援を実施しています。運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象とした荒木名誉教授によるこどもクリニックも実施しています。年々こどもクリニックの要望が増加しており、動きの気になる子などを対象にした支援の充実を図ることが必要です。	通年	①乳幼児施設職員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施することにより、乳幼児施設指導者の育成を図ります。 ②私立保育園、私立幼稚園については、トレーニング指導に係る経費を補助するプロジェクトK事業推進補助金を交付することで、トレーニングの普及を図ります。 ③子どもの発達に不安のある家庭を対象に荒木教授とマンツーマンでコーディネーション理論の観点から子どもの様子を観察しアドバイスを行う「こどもクリニック」を実施することにより、保護者が子どもの発達に応じた子育てができるようトレーニングの普及を図ります。 ④こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。	動きの気になる子などを対象にした支援については、今後も指導者の育成を図るとともに、保護者向けの啓発、こどもクリニックの開催や情報の共有など支援の充実を図ります。	①1～2回 ②随時 ③10回程度 ④随時		こども育成課 ・健康課 ・市内乳幼児施設		
10			小学生、中学生のスポーツ運動を通じた総合教育の推進事業	6～15歳の小・中学生を対象としたコーディネーショントレーニングを普及します。	指導者の育成については、指導者用DVDを市内の各小学校に配布し、また、荒木名誉教授による研修会を実施してきました。指導については、すべての小学校で運動指導が実施できています。また、運動の苦手な子や動きの気になる子、発達障がいや障がいを持つ子を対象に、荒木名誉教授によるこどもクリニックも実施しています。中学校に対する運動指導は未実施ですが、小中学校の教員を対象とした合同研修会と稲葉中学校を対象とした実技研修会も実施しました。今後も小学校への継続的な実施と中学校への普及の促進が必要です。また、年々こどもクリニックの要望が増加しているため、動きの気になる子などを対象にした支援の充実を図ることが必要です。	通年	①小中学校教員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施することにより、小中学校の指導者の育成を図ります。また、新小中学校学習指導要領に対応するコーディネーショントレーニング指導書を作成します。 ②小学校児童を対象に、スポーツ推進課職員によるトレーニング指導を実施することにより、小学校におけるトレーニングの普及を図ります。 ③子どもの発達に不安のある家庭を対象に荒木教授とマンツーマンでコーディネーション理論の観点から子どもの様子を観察しアドバイスを行う「こどもクリニック」を実施することにより、保護者が子どもの発達に応じた子育てができるようトレーニングの普及を図ります。 ④こどもクリニックにおける荒木教授の助言内容をデータベース化し、発達支援に関係する機関や保護者に対して情報の共有を図ります。 ⑤学校教育課と連携し小学校における体育専門指導者の配置について検討します。	小中学校の教員に対する研修会を充実し、更なる指導者の育成を図るとともに、中学校を対象とした実技研修会を実施します。また、動きの気になる子などを対象にした支援については、こどもクリニックの開催や情報の共有、乳幼児施設との連携など支援の充実を図ります。	①1～2回 ②低学年は学期に2回、高学年は学期に1回 ③10回程度 ④随時		学校教育課 ・市内小中学校		

平成31年度嘉麻市教育委員会 スポーツ推進課事業計画表

【プロジェクトK・スポーツ推進係】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	平成31年度事業計画								
					Plan・Check		Do・Action						
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業（関連機関）連携	
11				高齢者の生きがいある生活実現のための事業	高齢者に対するコーディネーショントレーニングを普及します。	嘉麻市社会福祉協議会のふれあいいきいきサロン取り組み団体に対する出前講座において、コーディネーショントレーニングを実施していますが、高齢者全体に対する体系的な導入には至っていません。体系的な導入を目指し、高齢者関係施設への普及の促進が必要です。	通年	高齢者関係施設職員を対象に荒木教授によるコーディネーショントレーニング指導者研修会を実施します。	高齢者施設職員に対する研修会を充実し、更なる指導者の育成を図ります。	1～2回			・高齢者介護課 ・高齢者関係施設
12	(4)競技スポーツの推進	競技スポーツ推進事業	各種競技大会、未経験の競技体験会の開催事業	公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、子ども達を対象に普段経験したことのないスポーツ体験会を開催します。	未経験の競技体験会はカヌー教室とボルダリング教室を実施しました。子ども達が様々なスポーツに関心が持てるよう継続的に事業を実施するとともに、様々なスポーツを実施する等事業の充実が必要です。	①通年 ②未定	①市体育協会及び各実行委員会に対して、各種教室や大会が円滑に実施できるよう財政的支援を実施します。 ②カヌー、トレイルランニング、ボルダリング等のスポーツ体験会を実施します。	ボルダリング教室は、嘉麻スタイルと連携し、市内の子ども達を対象に教室を実施します。また、その他、市内の自然環境を生かしたスポーツ教室や嘉麻市体育協会と連携した教室を検討します。	①随時 ②未定			嘉麻スタイル	
13				子ども達のスポーツと競技力向上への関心を高める事業	競技スポーツ大会の開催やトップアスリートとの交流により子ども達の競技スポーツへの関心を高めます。子ども達のタレント発掘と競技力育成に関わる事業を展開し、全国や世界で活躍できるスポーツ選手の育成に取り組みます。	子ども達のタレント発掘と競技力育成に向けた事業については、平成29年度からサルビアパークにおいて指定管理者と連携し、小学3年生を対象とした荒木式スポーツコーディネーショントレーニングを実施しています。29年度及び30年度は水泳、テニス、バレーボール競技の種目を実施しました。その他の種目についても実施できるよう事業の充実が必要です。	①未定 ②未定 ③通年	①小学生を対象としたドッジボール大会を実施することで子ども達の競技スポーツへの関心を高めます。 ②トップアスリート選手によるスポーツ教室を実施することで、夢と希望を持ってスポーツに取り組む子ども達の育成を図ります。 ③小学3年生を対象とした荒木式スポーツコーディネーショントレーニング教室を開催し、低学年期に応じたスポーツコーディネーショントレーニングプログラムを実施することで、将来さまざまなスポーツに対応できるよう、子どもの潜在能力の全体的な育成を図ります。	荒木式スポーツコーディネーショントレーニングについては、様々な種目の教室が実施できるよう、各種スポーツ団体と連携を図ります。	①1回 ②2回 ③未定	青少年健全育成 助成金	嘉麻市文化スポーツ振興公社	
14				指導者養成・育成とスポーツ科学の普及事業	スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学、コーディネーショントレーニングなどに関する学習会、研修会を開催します。	スポーツ指導者の育成については、競技力向上の土台となるコーディネーショントレーニングの指導者研修会を中心に実施しました。スポーツ推進委員や地域活動指導員をはじめ、乳幼児施設職員、小中学校教員など多くの指導者が受講しています。今後もコーディネーショントレーニング研修会の内容の充実を図るとともに、幅広いスポーツ指導者の発掘、育成を図ることが必要です。	①未定 ②随時 ③通年	①荒木教授によるコーディネーショントレーニングをはじめ身近なスポーツ科学や運動科学、栄養学などに関する研修会を実施することで、指導者の育成を図ります。 ②公認スポーツ指導者資格に関する情報を提供することで、競技力の向上を目指した指導者の育成を図ります。 ③指導者相互の連携や課題の共有ができるようコーディネーショントレーニング指導者のネットワークを設置することで、コーディネーション理論の知識及びトレーニング指導の技術の向上を図ります。	今後もコーディネーショントレーニング研修会の内容の充実を図るとともに、幅広いスポーツ指導者の発掘、育成を図ります。また、コーディネーショントレーニング指導者相互の意見交換や課題の共有ができるようネットワークを作ります。	①未定 ②随時 ③随時			

平成31年度嘉麻市教育委員会 スポーツ推進課事業計画表

【施設管理運営係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 31 年 度 事 業 計 画						
					Plan ・ Check		Do ・ Action				
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等
1	5 体力及び運動能力向上の推進	5-1スポーツによる地域の活性化	スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援	スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援	<p>スポーツを行ったり観戦することあわせて、地域の人々と交流することで地域の活性化に繋げる。</p> <p>ポルタレット北九州が平成30年度に嘉穂総合体育館をホームアリーナとしてリーグチームに参入し試合が開催されたが、周知不足もあり観戦の多くはチーム関係者だった。今後は関係機関と連携し、特産品の販売等を行いさらなる交流人口の増加に努める。</p>	通年	<p>【対象】各種団体 【内容】各団体に働きかけ、大会や合宿を誘致する。</p>	<p>試合日程についてのポスターを市内の施設に掲示し、広く情報提供を行うとともに、試合開催の際には特産品の販売を行えるよう各種団体に働きかける。</p>	—	—	各種団体
2	5 体力及び運動能力向上の推進	5-2スポーツ環境の整備	社会体育施設管理運営事業	社会体育施設管理運営事業	<p>市民のニーズに応じたより快適なスポーツの場を提供する。</p> <p>老朽化している施設について、平成30年度に策定の個別施設見直し計画をもとに、施設の利用状況等を勘案しながら適切な補修・改修を計画的に行っていく必要がある。</p>	通年	<p>【対象】市内社会体育施設 【内容】すべての利用者が安心して利用できるよう適切な維持管理運営を行う。</p>	<p>個別施設見直し計画をもとに施設の統廃合を含め、計画的に適切な補修・改修を行う。</p>	—	139,857千円	—